

プログラム詳細

科目群	項目	項目説明	担当者	受講形式
リハビリテーションの視点	ボディメカニクスと機能を活かした動作支援と介助	看護や介護に関わる計画立案において、様々な行為の自立や改善が対象になるかと思います。その際に必要となる動作支援や介助に必要な知識と技術の習得を目指します。	中野	双方向オンライン：2時間 & 対面：3時間
	脳卒中リハとケア	脳卒中後の運動麻痺、痛み、廃用症候群の問題について解説し、ポジションニング、動作介助、装具の装着などについて講義および実技を行います。	宮良	双方向オンライン：3時間 & 対面：3時間
	呼吸リハとケア	呼吸ケア・リハビリテーションについて、高齢者の誤嚥性肺炎やCOPD、間質性肺炎等の呼吸器疾患に対する病態の捉え方、息切れを軽くする動作の工夫、上手な痰の出し方などを紹介します。	大池	双方向オンライン：2時間 & 対面：3時間
	心臓リハとケア	心臓リハビリテーションは、運動だけでなく、日常生活動作の支援や心理面への配慮、再発予防のための生活指導など、多職種での連携が重要となります。本項目では、心臓リハビリテーションの基本的な考え方と、看護・介護の現場で活かせるケアの視点や支援方法を理解することを目指します。	野中	双方向オンライン：2時間 & 対面：3時間
栄養と口腔保健の視点	アップデート 食生活と栄養	身近な食品と栄養について情報があふれています。正しい情報と誤った情報を取捨選択できるように食品と栄養の基礎から新しい視点まで解説します。	村上	双方向オンライン：2時間
	アップデート 健康と栄養	栄養ケア・マネジメントに関わる際に、知っておきたい「日本食品標準成分表」や「日本人の食事摂取基準」について内容や活用方法などを解説します。	村上	双方向オンライン：2時間
	口腔ケア	食事介助や口腔ケアの現場では、「むせ」や「飲み込みにくさ」といった機能面の变化、また「舌苔」や「残渣」などの衛生面の变化に気づくことが、健康維持や誤嚥性肺炎予防の第一歩となります。本講義では、口腔から咽頭・喉頭に至る構造と生理的機能について、図や写真を交えながら解説します。	浪花	双方向オンライン：1時間
		口腔ケアは、口腔の保清のみではなく口腔機能の維持・向上や栄養の改善などにも有効であることが示されています。本講義では、複雑で個別性も大きい口腔の観察ポイントや評価への理解を通して、安全な口腔ケアの実践方法について解説します。	淀川	双方向オンライン：1時間
	摂食嚥下	本講義では、摂食嚥下障害の背景にある口腔機能の低下や構造的な問題を理解し、現場での観察や評価を通じて、適切な口腔リハビリへとつなげるための視点と方法を学び、実践的な対応につなげるための知識を、図や写真を用いてわかりやすく説明します。	中村	双方向オンライン：1時間
ストレスマネジメントの視点	ケア支援者のストレスマネジメント	ケア支援者は対人援助を担う中で高いストレスに曝されやすく、心理的負担からメンタルヘルスの不調を生じやすい状況にあります。本講義では、ストレス反応の理解や心理的支援の基礎を踏まえ、こころのケアを実践に活かす視点を学びます。支援者の感情や背景を多面的に理解し、安心・信頼を基盤としたケアを提供するために、ストレスマネジメント技法の習得を目指します。	上田	対面：3時間
	管理者のストレスマネジメント	管理者は組織運営や人材育成、業務調整など多面的な責務を担う一方で、強い心理的負担や意思決定に伴うストレスに直面しやすい立場にあります。本講義では、管理職が自己のメンタルヘルスを適切に維持しつつ、組織全体のウェルビーイングを促進するための視点を学びます。また、近年のメンタルヘルスの特徴や管理者の心の健康を保ち、向上させるためのストレスマネジメント技法を習得します。	上田	対面：3時間
地域の視点	地域における保健・医療・福祉の施策動向と在宅生活環境・退院支援	少子高齢化や家族のかたちの変化などにより、私たちを取り巻く環境は、この数十年で大きく変化してきました。こうした社会の変化を受けて、保健・医療・福祉の考え方やしくみも、少しずつ見直されています。本講座では、「これからの支援に求められる視点とは何か」をテーマに、社会の動向や制度が生まれた背景を、わかりやすく整理します。専門職にこれからどのような役割が期待されているのかを理解することを目的とした講座です。	藤本	双方向オンライン：1時間
		今後の地域における保健・医療・福祉のあり方を踏まえ、施設と在宅の双方で必要な看護の視点について理解を深めます。	清永	対面：1時間
	知っておきたい地域における予防とケアの視点	地域における介護予防、フレイル、サルコペニア、ロコモ、転倒、骨折、認知症予防を説明・紹介します。	谷口	オンデマンド：2時間
		「今までとは何か違う」という認知症の初期症状、症状の変化、家族への対応、サービス利用、ケアする側の注意点などについてお話しします。	山本	双方向オンライン：1時間

プログラム詳細

科目群	項目	項目説明	担当者	受講形式
地域の視点	災害時の対応・災害による心身への影響と「こころ」のケア	災害時における医療福祉人材としての対応について紹介します（災害時の支援活動、災害時に起きやすい心理的・身体的・社会的な反応と支援を行う際の方法やポイント）。	花田	双方向オンライン：1時間
			緒方	双方向オンライン：1時間
			田口	双方向オンライン：1時間
	在宅における療養支援（他職種の視点）	療養者と家族の双方を支えていくために、鍼灸とリハビリの視点から事例を紹介します。	田口	双方向オンライン：1時間
データサイエンスの視点	現場で活かすための基本的統計スキル	医療・福祉の現場で活用できる統計の基本スキルを、オンデマンド形式で学習します。平均、分散、相関などの基礎的な統計指標の意味や活用方法を理解し、データの見方・使い方を体系的に習得します。	吉田	オンデマンド：5時間 （個々での演習時間含む）
	解析体験とデータ活用	実際のデータを用いた解析演習を通じて、統計スキルの応用力を養います。RやPythonを用いた解析体験を通じて、データの読み解き方や課題解決に向けたプロセスを実践的に学びます。	吉田	対面：3時間
研究スタートアップ（事例検討含む）	ケア実践につなげる研究例の紹介と検討	プログラムに関連する内容から一部の取組・研究を紹介し、それらを題材に意見交換を行います。特に、問題意識を持ってから、どのように取組・研究へとつながっていったのか紹介します。	清永	対面：1時間
			中野	双方向オンライン：2時間
	興味関心のあるテーマについて研究スタートアップを支援	自らの関心に基づくテーマを明確にするため、文献検索の基本手法と情報収集のポイントを学び、研究のスタートアップを支援します。	永松	オンデマンド：1時間
		担当教員がメンターとなり、施設内外での研究発表や症例検討、興味のある分野の深堀などを想定し支援します。ただし、本プログラムに関連する内容で且つ1名の教員が2名以上の受講者を担当する形となります。	適任者	双方向オンライン：3時間 （個々での課題実施時間含む）
	成果発表会	本プログラムで取り扱った内容に関連して考えた研究デザインや事例報告について各自発表し、意見交換を行います。	中野・他	双方向オンライン：3時間